

2025年 6月 5日

2024 年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 文化・芸術いきいきネットワーク

代表者・役職名 氏名 佐藤 典子

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクトの名称

「上水オペラ倶楽部」コンサートの出前公演 (高齢者施設での参加型オペラコンサート)

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

代表が、長年高齢者施設でコンサートやアクティビティ活動を推進してきた経験から専門家によるクオリティの高い文化や芸術の提供が精神的感動度合いを高め、新たな行動や、暮らしを創り出す事を体験した。又これらの活動から喜びを家族や地域と共有する事で、＜孤独＞が救われる事も実感した。この結果を基に広く地域に貢献する為に、ボランティア団体を設立した。
設立: 2008年 5月

プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

・社会的な背景①高齢者社会にあって、施設での暮らしはクオリティの高い文化・芸術、学びの場は少なく、無気力、無感動な日常生活を送っている方々は多い②コロナ禍も癒え施設も高齢者の方々も待ち望んでいる③心の通ったアクティビティは少なく効率化優先で高齢者自身の尊厳が軽んじられがち。
 ・目的:これまでの経験から＜本物の感動が元気な高齢者には欠かせない＞との認識に立って自分の人生を幸せに思い＜生きていて良かった＞と思って欲しい。我々自身も尊厳を考慮してくれる社会で暮らしたい。その為の社会環境の仕組みを構築したい。
 一般市民への理解を深めたいと企画した「オペラレクチャーコンサート」は大好評で、柴崎学習館との連携事業として引き続き実施する事とし更にく＜アィム＞での開催も継続し、理解促進を強化する。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

1. 高齢者施設で「オペラコンサート」を出前公演する
 過去の実績を基に、国立音大招聘教授の中村先生(演出家)に協力頂き、より楽しく、親しみ易い且つコロナ禍でも実施した実績を活かしつつ、安全に楽しめるコンサートの実現に努力する。
 <用意した演目>「羊飼いと狼」「泣いた赤鬼」「浅草オペラ」「電話より終幕から」「魔笛」
 これらに併せて日本の童謡や愛唱歌、日本歌謡を楽しみながら皆さんが参加し歌うプログラムとしている。
2. <オペラコンサート>DVD制作
 中村先生監修にとるDVDを制作、施設内でも安全に、この楽しさを享受できるよう、映像化を行う
3. 「オペラレクチャーコンサート」を強化して一般市民の理解促進を加速させる。

一般市民を対象に、高齢者施設で行っている出前公演とは別の「ロミオとジュリエット」「カルメン」などの定番のオペラのハイライトシーンを歌いつつオペラが親しみ易く高齢者や子供達にも好影響を与えることを中村先生の解説と演出で行う。それも広く多くの方々に鑑賞いただく為に柴崎学習館に加えてくアィムでも行なう。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」

なかなか触れる事のないくオペラの世界を提供し、様々な効果をもたらした。

- ① 高齢高齢者からは「分かり易く楽しい」「一緒に参加できて大変良かった」「次回も期待している
- ② 社会福祉の新しいデイセンターで、初めて開催する事ができて、大変喜ばれました。
- ③ 全ての運営はスタッフが担当し、施設側の物心両面の負担を少なくでき、定例化への期待が持てた
- ④ 地域交流の必要性が芽生えた
- ⑤ 若い演者(音大卒業生)の育成、高齢者との交流が、のく福祉と、文化・芸術との関わり世代間交流の発展に、期待を持たせてくれた
- ⑥ 施設側が、く高齢者と文化・芸術と触れ合う効果の高さを再認識してくれた。特にこの面での予算を持たない施設が喜んでくれた
- ⑦ 過去の貴財団からの助成のお陰で多摩地域に活動を広げた事で、新しい施設・地域の皆さんから高い評価を受け、開催希望を直接頂く事も多くあり、一層継続の必要性を実感したスタッフの意識高揚に寄与できている事は言うまでもありません
- ⑧ くレクチャーコンサート>では、「一般市民にとって、このような事業は欠かせない、是非継続して欲しい」「子供達への提供を希望する」との声を多数頂けた。貴財団のご支援の賜物です。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

前述の通り、様々なく効果>を体験し、このプロジェクトの継続性・定着化は不可欠！と認識している。今後も親しみ易く楽しくく高齢者も参加して、心も体も動かしてくれるようなオペラ制作を継続して実施する。

出前公演 4施設
オペラレクチャーコンサート 1回 を基本目標とする。

過去に実績のある施設からの再リクエストや、新規施設からの要望を考慮した、継続と拡大は欠かせない。一方他の事業による参加費、寄付金、賛同会員(法人含む)の拡大は引き続き行う。

- オペラレクチャーコンサートに賛同した新会員も拡大傾向にあるので、このプロジェクトは継続したい。

7. 参考資料:プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。



レクチャー
コンサート

ジャコモ・プッチーニ作曲

オペラ『トスカ』への招待

歌姫の悲劇のハイライトを鑑賞

誰もが親しめるオペラ演出で定評のある国立音楽大学招聘教授・中村敬一先生の解説と若手のオペラ歌手の歌唱でジャコモ・プッチーニの代表作オペラ『トスカ』よりハイライトシーンを鑑賞するとともに、アクティビティへの効用を学びます。

令和6年6月30日(日)

時間：午後2時～午後4時
場所：立川市女性総合センター・アイムホール
講師：中村敬一（国立音楽大学招聘教授）
出演：吉田静香（S）、福井暖（T）
大槻聡之介（Br）、吉田彩（P）
入場：無料
定員：190人(申込順)

★★プログラム★★

- 1) プッチーニ作曲『トスカ』より
ハイライト
「歌に生き、恋に生き」
「星も光りぬ」他
- 2) 昭和と平成歌謡
翼をください、いい日旅立ち
川の流れるように
ハナミズキ
どんなときも 負けないで
世界に一つだけの花
アメイジング・グレイス
恋(星野源)、少年時代
千の風になって、涙そうそう
見上げてごらん夜の星を

申込：受付時間 午前9時～午後7時(5月25日から)
事務局・林(Tel.042-535-5602)／後藤(Tel.042-584-0615)
※立川市社会福祉協議会たちかわまちなつと Web に申し込みを含めたご案内を公開しています。

主催：文化・芸術いきいきネットワーク／支援：株式会社 立飛ホールディングス
助成：真如苑市民活動助成／後援：立川市地域文化振興財団、立川市社会福祉協議

